

会 議 録

会 議 名	第1回 三芳町学校再編等審議会			
開 催 日 時	令和5年7月20日(木) 午後5時30分開会 午後7時閉会			
開 催 場 所	藤久保公民館 ホール			
出席者氏名	会長	佐藤 和秀	委員	明石 沙絵子
	副会長	宇佐見 宏一	委員	南雲 友香
	委員	岡野 雅一	委員	西内 一夫
	委員	細谷 拓郎	委員	曾我 幸也
	委員	大澤 純之	委員	武田 和広
	委員	田畑 裕孝	委員	渋谷 勝
	委員	松村 明子	委員	吉村 豪
	委員	松元 優子	委員	清水 恵美
	委員	高橋 敦士		
欠 席 者 氏 名				
事 務 局	学校教育課			
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 教育長あいさつ</li> <li>3 委嘱状交付及び参会者自己紹介</li> <li>4 会長、副会長の互選</li> <li>5 諮問</li> <li>6 議事(説明・協議事項) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 三芳町学校再編等審議会の役割について</li> <li>(2) これまでの取り組み</li> <li>(3) 三芳教育と小中学校等の現状について</li> </ol> </li> <li>7 諸連絡</li> <li>8 閉会</li> </ol>			
会議経過	別添のとおり			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 三芳町学校再編等審議会条例</li> <li>・ 説明資料</li> <li>・ スケジュール(案)</li> <li>・ 三芳町学校再編等審議会 参考資料集</li> </ul>			
会議録の確定	令和5年8月29日			

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
会長	<p>1 開会 2 教育長あいさつ 3 委嘱状交付及び参会者自己紹介 4 会長、副会長の互選 5 諮問 6 議事（説明・協議事項） （1）三芳町学校再編等審議会の役割について （1）三芳町学校再編等審議会の役割についてから、事務局よりご説明をお願いします。</p> <p>事務局説明</p>
会長	<p>今説明がありました内容につきまして、質問等ございましたらお願いします。</p> <p>質問者なし</p>
会長	<p>（2）これまでの取り組み （2）これまでの取り組みについて説明をお願いします。</p> <p>事務局説明</p>
会長	<p>質問、意見等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>適正な基準に関して、小学校と中学校、おおむね3 km、4 kmというのは、なにか基準として国の方であるのか。それとも三芳町独自の基準があるのか。</p>
事務局	<p>国の方でもおおむねの基準というのが示されている。そこでは小学校が4 km、中学校6 kmと挙げられている。ただそれ通りではなく、三芳町のこの地域の状況等も鑑み、三芳町では小学校が3 km、中学校は4 km という形で定めさせていただいた。</p>
会長	<p>他にいかがか。</p>
委員	<p>説明資料の7ページに「適正とする規模を下回る場合には、保護者や地域の方々と合意形成を図りながら学校再編等の検討を進めていくものとする。」とあるが、具体的にどのような方法で保護者や地域の方々との合意形成を、ということはもう決まっているのか。</p>
事務局	<p>まだ決定しているところではないが、方法としては、住民説明会やワークショップ、パブリックコメントなどいろいろな方法があると思うので、内容や時期に合わせ、適切な方法がとれるといいと現時点では考えている。</p>

委員	合意形成の部分に関して、実際には再編の可能性がある学校ということで名前が上がってくると思うが、その際には該当する学校の保護者もしくは児童生徒からの合意形成や意見を、具体的にほぼ全数、全ての世帯ですとかすべての児童生徒に対するアンケートや説明会みたいな形を開いていただきたい。どうしてもパブリックコメントや、住民説明会、こういった形の審議会だけの吸い上げだと取りこぼしてしまう。意見はたくさんあると思うので、具体的な名前が出始めた段階においては、該当する利害関係者の方には丁寧に意見を聞いていただきたい。
事務局	その方法等も事務局として対応させていただきたいが、ぜひ合意形成の図り方等につきましても含めてご審議いただけるとありがたい。
委員	上富小学校の中でも三芳小学校と合併するんじゃないか、具体的な日数も出ているような状況。あくまでそれは噂が1人歩きしているだけのものだが、対象になる方は幅広いと思うので、しっかりとそういった意見を吸い上げないとならない。私もその意見を踏まえて発言するというふうになると思うので、そういった意見を落とさないようにしていただきたい。
事務局	おそらく施設マネジメント課で作成している公共施設マネジメント計画をご覧になって、そういった話題が1人歩きしているところはあるという認識。様々な面からご検討いただきたい。
会長	今出していただいたご意見は、今後検討していく中で、十分に方法、時期と含めて考えていきたいところ。では、次に移らせていただきます。
	(3) 三芳教育と小中学校等の現状について
	事務局説明
会長	ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。
委員	2点あり、まず1点が9ページの方、三芳教育と小中学校等の現状の方に書いてある教育事務委託地区というのが。これについてはどういったものなのか。
事務局	例えば、三芳町に在住している三芳町として住民として登録されている方が、学校から遠いとかいうふうなお子さんが市をまたいでふじみ野市の西原小学校だとか、大井小学校の近い学校に就学する方。
事務局	定まった学区の中で、一部指定住所地の方については市をまたいで学校に通うことができるということ。
委員	保護者の方が希望してというわけではないのか。
事務局	規則には「就学可能」とあるので、選べるということ。

委員	2点目は、児童生徒数、人口の推移の数字に関してだが、これは、今の住民台帳登録を基にして、そのままそのお子さんが学校に行く数を捉えているのか、ある程度の人口流入とかを見据えた指数をかけたような、シミュレーションがされているのか。
事務局	あくまでも現時点のものからの推計。今の住民台帳のまま、今いるお子さんが上がっていくという推計。
委員	関連する9ページ、工場跡地に大規模な集合住宅が建つと思う。おそらく300戸ぐらい。こちらは、まだ未来の話を加味していないということではないのか。入ってきたらだいぶ数字も変わってくると思う。
事務局	これは、現時点での数。委員さんご指摘の通り、そういったマンションが建つとか、その他の地域とかでも開発の様子によって人口の動態等は変わってくるところがある。それが今後どのぐらいってところは推定も難しいところがあり、現時点での人数として捉えていただきたい。
会長	今後このような説明資料をもとに多様な視点から学校再編に係る内容について検討していくことになる。具体的な検討内容や検討の手順については、次回以降皆様からのご意見をいただきながら検討していくことになると思うが、初回なので、テーマを絞るわけではないが、今後の学校の再編等について検討していく上でそれぞれ皆様の考えがあるのではないかと思いますので、そこを伺い、次回以降の会議の進め方等を皆様の方に検討していただければと思っている。ぜひお集まりの皆様から、どんなことでも結構ですので、この学校再編等に係ることで、今お考えの方お持ちの意見、考えをお聞かせいただいて、今日は会議のまとめとさせていただきます。
委員	まだちょっとよくわかっていないが、審議の内容としては、しょうがないけどやっていくということで決まっているということか。
事務局	具体的なものは決まっていない。ただ、上富小学校と竹間沢小学校は1学級が続いていく見込み、中学校も12学級未満が見込まれる状況ではあるので、そのあたりの在り方についてはお考えいただきたい。
委員	これからこの状態で子どもたちが減少していくということで、最終的には統合、学校が2つか3つぐらいになるような形になってしまうのか。それと、上富地区の方でもそうだが、三芳町は家が建たないところが結構多くなっていて、市街化調整区域の見直しなど、教育委員会が町の方に要請するだとかということの一つの道かと思う。そこら辺も考えながら、これから審議していければと思う。
委員	私は、戦争が終わった次の年に四国で生まれた。その頃は、昭和25年頃までに生まれた子どもで小学校は溢れていた。自分の年が2学級、3年後は4学級増えていた。それが、自分が学校を卒業して東京へ出てきてしばらくすると、学校再編の話が出てきて、もう子どもたちも少なくなっ

	<p>ロポロになってきて、その話を進めたのも遅かった。田舎町で小学校でも遠いところが5キロ、6キロ離れたところだったが、再編というのは地域性の問題もあったり、地域の良い意見やエゴもあったりして非常に難しいと思うが、三芳町も遅れることなくはっきりとした計画を立ててもらって早く結果を出さないとボロボロの町になってしまうので、それを自分の育った町に当てはめてちょっと考えてみた。</p>
委員	<p>上富小学校の児童数が少ないという話を聞いていて、増えることはない状態にはなっているので、学校の教育的なもの子どもたちのケアとバランスというか、多いところがすごく過密になってしまっていて、少ないところは少なく、それでいて人間的なものを上手く成長させる教育というものをどういうふうにやっていったらいいのかというのが一番重要なのかと思うが、少ない方からするとやっぱり増やす方針をなんとか打ち立てていただいてという思いもある。私は分校も経験しているが、小学校ができて学年に人が多くなって、子どもの精神的な成長というそれもあるので一概には言えないが、その中で子どもたちが遠くに通う負担や親がどう思うかとかを皆さんと考えて答申できればと思っている。</p>
委員	<p>学校現場で教えていると、子どもたちが生き生きと活動している授業というのは、子ども達もすごく伸びるし、教えている教員も生き生きとして、やはり頑張ろうという気になる。人数が少なくなってくると、活気という部分で落ちてきてしまう部分があると思う。今、高校が再編をやっている、廃校になる高校は募集をしなくなる。そうすると、最初は3学年揃っているが、次の年は1年生が入ってこないで2年生と3年生だけ。最後の年は3年生、1学年だけの学校になってしまうのだが、やはり活気がなくなってきてしまうという話も聞いている。ですので、やはり子どもたちが生き生きと元気に活動できる、そういう規模で学校再編等を検討していけばいいかと考えている。</p>
委員	<p>まず、データの資料を用意していただきたい事がある。一つは先ほどの人口統計のお話で、現状の住民台帳のデータはわかったが、たたき台としても少し弱い可能性があると思うので、三芳町の人口を増やそうということではいろんな施策が走っていると思うし、そのような施策がうまくいって人口の減少が止まったりとか、増えるということはないにせよある程度楽観的に人口の推移が進んでいくというようなパターンと、現状の住民台帳のパターンと、最悪なケース、住民台帳よりも人口流出が進んでしまうような、その三つ目のシナリオがあった方が議論がしやすいのかと思う。可能な限りで構わないので用意していただきたい。二つ目に、学校の耐用年数に関してだが、おそらくある程度耐震等で改修されてたりしていると思うので、現時点でわかるだけでも本当の耐用年数というか、ギリギリまで使うとどれぐらいもつというようなデータがあればぜひ教えていただきたい。私の思いとしては、以前の住民説明会とかパブリックコメントとかを見て、一定の数の住民の方から学校再編を結果ありきじゃないかというような事を言われることが非常にあると思う。当然、施設マネジメントを考えればそうならざるを得ない部分もあるとは思いますが、やはり住民の中に不信感があつたまま統廃合が進んでしまうのは非常によろしく</p>

	<p>ないと思う。いわゆる結果ありきではないんだということを示すために、現状をなるべく維持するようなアイデアの議論をし尽くさなければいけないのかと。並行して、統廃合する場合には特に具体的な議論もされるべきだが、統廃合しなくてもいいのかもという議論をし尽くした方が、このような議論を重ねた結果こうなりました、というのをきちんと示せるということで住民の不信感を払拭できていると思っている。ぜひそういった議論をさせていただければと思う。岐阜県山県市も中学校が1学年に2クラスというような状況で、統廃合の話があった時3つの中学校を統廃合することなく各授業を持ち回りしたりという試みをしているとのこと。山県方式などと言うそうだが、ぜひこの状況も調べていただき、どのようなものなのか、三芳町でも検討できるのか、地域が違えば難しいのか調べていただきたい。</p>
委員	<p>具体的な意見があるわけではないが、自分が関わってきた小学校などが再編するかもしれないということで、何かこれからの未来に関わっていけたらいいと今回参加させていただいた。これからいろいろ勉強しながら意見、考えを作っていきたいと思っている。</p>
委員	<p>竹間沢小学校については、人数もクラスも減ってしまい、だいぶ寂しい感じにはなっているなというところはある。私が通っていた東京都区内の小学校も分校で、私が小学校6年生のとき1年生が10人という状態だった。そのような状態でもなかなか統合はされずに、5年か6年経ってからようやく統合という感じになったので、なかなか統合するのも難しいところがあるかと思いつつも、子どもたちが一番いい教育が受けられるように参加していきたい。</p>
委員	<p>学校統廃合ということで、やっぱりネガティブなイメージが外から感じられるかと思うが、これが逆に人口が増えすぎて学校を増やしていこうという話であれば、ネガティブな意見は出ない。素晴らしいことじゃないかということで、ポジティブな意見しか出ない。しかし、日本は今、現状どこもそうだが、学校だけでなく公共交通とか行政も、全て人口減少に従って縮小して効率化していかなければいけない。要は撤退戦。確実にネガティブな意見が住民から出てくるが、そのような意見に対して、小学校を統廃合するとどのようないいことがあるのかというのをしっかり説明していけたらいいのかと思う。具体的には予算の面。縮減効果でこれだけ進めていけば41億円浮くとか、学校の人数を適正に保てれば子どもに対してこのようなメリットがあるよというところ。そういうメリットをたくさん説明して欲しい。現状かなり不安感がある。上富でこういう話をすると、例えば、遠い地区からどのように通うのかという不安は非常にあり、学校の跡地の利用、廃校になった後その建物をどうするか、校庭をどうするかというところで、決して後ろ向きな話だけじゃないが、かなり住民の間でも話題になったりするので、なるべくこの2年間で、早めに具体的なところを、もやとした話だとなかなか前に進まないんだろうと思うので、2年間の早い段階で具体的な小学校中学校をどうするこうするというのを決めていった方がいいのかと思う。責任を持って、参加させていただく。</p>

委員	<p>一つお伺いしたいのだが、今後、竹間沢の工場跡地に集合住宅ができると思うが、1学年2学級以上になった場合には、該当校ではなくなるのか。</p>
事務局	<p>先ほど人口シミュレーションを、というお話があったと思う。次回までにしっかりしたものを出せるかわからないが、なるべく今後の検討の参考になるものをご提示したい。</p>
委員	<p>唐沢小学校自体も子どもは減っているが、統合の場合は来てもらう側。学校がなくなって遠い距離を歩くという感覚がないが、想像して、上小だったり竹小の奥の方から小学1年生が通うとなるのはとても大変なことだと思う。学校から近くても「あれ、まだ帰ってこないの」って思うこともあるぐらい子どもたちはのんびり歩くので。中学生になれば結構な距離を歩いても心配は少ないと思うが、小学校の低学年だと悪い人がいて暴れても捕まえられちゃうと思うと…。特に竹小のうねった道を行ったりとか、上富を車で通っても暗いのに、という通学面の不安がある。統合することは、1学年に人が多くなるとクラス替えでシャッフルされるので、いじめまではいなくてもグループが固まってしまうというのがどうしても学校はあるので、ある程度のクラス数があって、シャッフルが行われたりしていく方が、子どもたちの心の面だったり、いろんな人と関わったりっていう面でもいいかと思う。</p>
委員	<p>事務局がまとめていただいたこのアンケートがすごく興味深い。よく見ると、児童の方が回答率が良かったりする。この問題って皆さんに関わる問題だと思う。なので、ぜひこういったアンケートの回答率を上げていただきたい。また、こういうことをやっているんだということに関心を持っていただきたい。無関心って一番よくないと思う。なので、この回答も100%に上がってきて、皆さんで切磋琢磨していろんな意見が出るのが一番理想。全ての子どもたちの笑顔のために、微力ながら委員として、しっかりと全うしていきたい。</p>
委員	<p>日本全国人口の減少等あると思うので、再編をしている町や村、市も結構ある。何よりも住民への説明、保護者への説明が大切で、我々、この審議会と教育委員会だけの問題ではなくて、三芳町全体の問題だと思う。三芳町も人口を増やしたいとかそういう動きをしていると思うが、我々だけで話すのではなく、役場の他の課との話し合いも必要かと私は思っている。この場だけで決める問題じゃなく、三芳町全体の問題だと思うので、そういう意見も役場へ出してもらいたい。</p>
委員	<p>2点思ったことがある。1つ目は、審議会と呼ばれるものが行政の中でアライバイ作りに使われるケースは結構多いと思っており、審議会で議論したで済ませるのではなく、しっかりと議論の場にしてほしいというのがまず一点。もう1点が、再編計画という今までの皆さんの意見聞いていく中で、結構ネガティブに捉えられている方も多いのかと思っているが、再編で捉えたときに、今は既存の方法でやった場合にはこうせざるを得ませんという回答になるケースって多いと思う。でも、コロナ禍もあっていろいろ</p>

	<p>ろな方法が試されて、新しい方法なども検討されていると思う。なので、再編は学校再編ありきだけではなく、既存の方法であったりとか、役所ってどうしても行政で区切られたりってあると思っており、特に教育委員会は、町長部局から外れていると思うので、その壁もあったりすると思うが、既存のあり方ではなくて、町長部局との壁をとっばらって議論していただきたい。また既存の方法ということで言うと、教育方法に関しても既存の方法でいったらこの方法しかありませんという、流れになってしまうと思うが、そこが本当に正しいのかどうかというところも含めて検討していただいた方が、より実りのある、住民からしても納得がいく形になるのかと思うので、そういった議論ができれば。</p>
委員	<p>たくさんの資料、大変興味深く拝見した。学校再編ということで今は価値観がかなり多様化しているし、何をやっても賛否両論のある世の中だと思う。白という人がいれば黒という人もいる。その正反対もある。ただそんな中で、やはり我々は子どもにとってどうするのが一番いいのかという、子どもを軸にした、そういう議論だけは忘れてはいけないなということを感じた。</p>
会長	<p>今いただいたご意見は、ぜひ次回以降のこの会議で検討、話し合いの柱にさせていただきたいと思う。また、ご提案ご要望がありました資料につきましては事務局の方で、なるべくわかりやすい資料を準備していただければと思う。当然、教育委員会だけで準備できるものと、また他の町長部局にも協力をいただく部分も出てくるかと思うが、それも事務局にお願いしたい。</p> <p>今後はここでの議論だけではなく、埼玉県内でも統廃合に取り組んでいる市町村もある。先ほどご意見いただいた他県の例も含め、そういうところの例も紹介していければ参考になるのではないかと思いますので、事務局の方をお願いしておきたい。</p> <p>説明協議事項につきましては、以上で終わりにさせていただきたい。</p>
	<p>7 諸連絡 第2回の審議会日程【8月29日(火)】について確認。場所は追ってお知らせすることとした。</p>
	<p>8 閉会</p>